

夏の企画展へ行こう!

考古資料館

☎43-0391

近世いわきの藩展Ⅳ

泉藩・窪田藩

～8月17日(木)

泉藩・窪田藩に焦点を当て、文献資料や発掘調査成果などを基に、歴史をひも解きます。



本多侯在所奥州菊田郡泉館之図

草野心平記念文学館

☎83-0005

いわむらかずお絵本原画展

7月15日(土)～9月24日(日)

「14ひきのシリーズ」「かんがえるカエルくんシリーズ」など、絵本原画約50点を展示します。



いわむらかずお『14ひきのかぼちゃ』童心社

暮らしの伝承郷

☎29-2230

「におい」と「温もり」 —高橋孝太郎作品展2—

7月15日(土)～9月24日(日)

東日本各地を訪ね描いた、かやぶき民家の淡彩画を展示します。



三和町の民家

アンモナイトセンター

☎82-4561

アンモナイト研究所 ～200年の謎と明かされた姿～

7月20日(木)～8月31日(木)

200年以上の研究を経てなお、多くの謎に包まれているアンモナイトの驚きの姿を解き明かします。



アナゴードリセラス・リマタム (約8,900万年前)

勿来関文学歴史館

☎65-6166

時計展

7月20日(木)～9月19日(火)

豊富なデザインの機械時計を展示し、その歴史を紹介します。



振り子時計 (個人蔵) ▶

市立美術館

☎25-1111

魔法の美術館 光と遊ぶ超体感型ミュージアム

7月29日(土)～9月3日(日)

未来の体感型アートや、自然現象を活用した作品など「見て」「触れて」「楽しむ」作品を紹介します。



藤本直明《Immersive Shadow》©naoaki FUJI MOTO

川前地区まちづくり懇談会を開催

～夢あるまち

つくろう川前の明日へのみち～



地区の現状を踏まえ、市道の維持管理などについて提案する参加者

川前地区まちづくり懇談会を五月二十八日、川前活性化センターで開催しました。

同懇談会では「夢あるまち つくろう川前の明日へのみち」をテーマに、道路の維持管理や交通弱者対策、救急医療、イノシシ対策などについて、住民の皆さんと市長・関係部長が意見を交換しました。その主な内

容をお知らせします。

○市道の維持管理について
【提言】復興事業に係る建設資材の運搬など、大型車両が頻繁に通行するようになったことから、震災後、地区では交通量が増加し、道路の傷みが見受けられます。

自家用車以外の交通手段が乏しい地区であるため、県道や市道は欠かせないイ

ンフラです。中山間地域における市道の維持管理について、市の考えを。

【市】市道の維持管理については、道路パトロールや、地区からの要望、スマレポいわきなどの情報提供を基に、現地確認を行っていきます。破損等がある場合には、利用度・緊急度などを考慮した上で、市職員または道路維持補修業者で対応して

川前地区では週二回、道路パトロールを行って



地区住民の皆さん約100人が参加

装の打ち換えなど、維持補修工事を三十四カ所で行いました。

今後も、除染廃棄物の仮置き場からの搬出に利用される道路や、大型車の通行の増加が見込まれる道路に重点を置いて、パトロールを強化し、引き続き良好な道路環境の保全に努め、利

川前地区では週二回、道路パトロールを行って

【提言】復興事業に係る建設資材の運搬など、大型車両が頻繁に通行するようになったことから、震災後、地区では交通量が増加し、道路の傷みが見受けられます。

自家用車以外の交通手段が乏しい地区であるため、県道や市道は欠かせないイ

用者の安全確保を図っていきます。

○運転免許証自主返納者に対する公共交通の費用補助について
【提言】運転免許証の自主返納者に対し、公共交通機関を利用する際の費用を補助する自治体があります。

川前地区の状況が踏まえ、中山間地域の住民が運転免許証を自主返納した場合、タクシー券を毎年助成する制度の創設について、市の

考えを。

【市】運転免許証の自主返納など高齢運転者の交通事故の対策については、関係機関と協議を行っています。また、人口減少・少子高齢化により、特に中山間地域においては、コミュニティの維持や、買い物などの日常生活の維持が懸念される状況です。こうした状況を踏まえて、本年度、課題分析や施策の立案などを図るため、中山間地域の暮らしを支える庁内検討会議や、地域交通検討プロジェクト会議を設置しました。

今後は、国の動向も注視しながら、市全体で早急に議論し、実効性のある施策を展開していきます。

※懇談会の詳しい内容は、市ホームページをご覧ください(今月中旬掲載予定)。